

国語 夏休み作品募集

夏休みの間に思ったこと、考えたこと、経験したことなどを、自分なりの言葉で表現してみませんか。

下記の内容をよく読んで、ぜひ挑戦してみてください。締め切りは全て9月1日(木)です。

コンクール名	内容・テーマ・課題	応募規定	備考																					
青少年読書感想文 コンクール	◎課題読書（☆裏面参照） ◎自由読書	1～2年生 本文800字（原稿用紙2枚）以内 3～6年生 本文1200字（原稿用紙3枚）以内	・1行目から本文に入る。 ・ 題名・学年・氏名は1枚目の枠の外に記入。 ・書名・著者名・出版社名は最後のページの末尾（枠外）に記入。 ・校内にて代表を選出																					
JA 共済 書写コンクール	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>半紙</td> <td>条幅</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>みち</td> <td>いろり</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>ほたる</td> <td>なかま</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>ひまわり</td> <td>竹とんぼ</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>友達</td> <td>雪わり草</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>喜びの歌</td> <td>緑の草原</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>発芽の時</td> <td>認め合う心</td> </tr> </table>		半紙	条幅	1年	みち	いろり	2年	ほたる	なかま	3年	ひまわり	竹とんぼ	4年	友達	雪わり草	5年	喜びの歌	緑の草原	6年	発芽の時	認め合う心	半紙の部 （タテ約33cm × ヨコ約24cm） 美濃紙等は使用しない。 条幅の部 画仙紙半切 （タテ約136cm × ヨコ約35cm） ※書き初め用紙とは異なります。サイズをご確認ください。 ※半紙、条幅とも、表装・裏打ち・押印等はしない。	・書体は楷書 ・左側に〈○年 氏名〉 ・学年は漢数字 ・氏名は1, 2年生はひらがな可。3年生以上は全て漢字。 ・学校名は記入しない ・ <u>作品の左下に下の名札を貼り付けること</u> ・作品は返却されません。
	半紙	条幅																						
1年	みち	いろり																						
2年	ほたる	なかま																						
3年	ひまわり	竹とんぼ																						
4年	友達	雪わり草																						
5年	喜びの歌	緑の草原																						
6年	発芽の時	認め合う心																						
令和4年度 歯・口の健康に関する 標語（川柳）	テーマ 「歯と口の健康, 歯科疾患の予防措置, 生涯を通じた口腔の健康づくり」	標語, おもしろ川柳 （5・7・5の17文字） 学校から指定された用紙にて提出。	・昨年度的最優秀作品 『よくみがこう むしばが レイワ うれしいワ』 ・校内にて代表者を選出																					

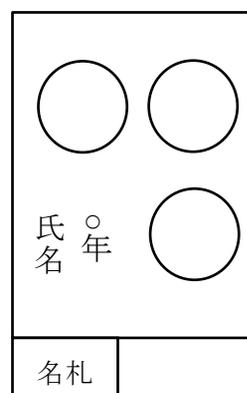
※国語の作品は校内夏休み作品展に出品することはできません。

JA 共済書写コンクールに出品する人は、別紙の名札を切り取って、作品の左下に貼り付けてください。（半紙・条幅どちらも）ボールペンやマジックなどを使って、楷書で丁寧に書いてください。

(例) 図1



図2



※3文字の課題の場合のみ、学年・氏名の配置は、図1・2どちらでも可とします。

☆青少年読書感想文コンクール，今年度の課題図書

<低学年> 「つくしちゃんとおねえちゃん」 「ばあばにえがををとどけてあげる」
「すうがくでせかいをみるの」
「おすしやさんにいらっしやい！：生きものが食べものになるまで」

<中学年> 「みんなのためいき図鑑」 「チョコレートタッチ」 「111本の木」
「この世界からサイがいなくなってしまう：アフリカでサイを守る人たち」

<高学年> 「りんごの木を植えて」 「風の神送れよ」 「ぼくの弱虫をなおすには」
「捨てないパン屋の挑戦：しあわせのレシピ」

☆ 読書感想文の書き方

- ・ 心に残っていること，登場人物について思うこと
- ・ 自分ならどうしただろうか，自分の経験と照らし合わせて考えてみる
- ・ この本と出会って自分がどう変わったか

読みながら，あるいは読み終わった後で，思ったことをメモしたり，大事な部分を書き抜いたりしてみましよう。その後，組み立てを考えて書きたいことを中心に文を作っていくましよう。